

1. フン・セン首相は、ASEAN 内での移住、出稼ぎ問題を ASEAN メンバーに提起

2015 年までの経済共同体創設を予定している ASEAN メンバーに対し、フン・セン首相は5 / 10、「出稼ぎ労働者の権利を保護するための同意とその実行」について提起した。ピースパレスで行われた ASEAN 労務省会議におけるフン・セン首相は、マレーシアで起こったメイド虐待の問題に関して、「出稼ぎ労働者の安全性へ向け統一したアプローチが必要である。ASEAN はこの問題にいままで取り組んできたが、同意をいわず実行に移せていない状態である。出稼ぎ労働者達を守るために、全ての ASEAN 国家で協力体制を強めるべきである」と彼は述べた。

これらのコメントは、労務相の Vong South 氏と、同じくマレーシアの労務相にあたる交渉相手が、メイドへの理解に関する基本合意書について話し合った、水曜日の会合に沿ったものであり、労務省外務長官 Oum Men 氏によると、2 国が合意に達するまであと少しであると言う。「私たちは出稼ぎ労働者に関する協定、あるいは同意証をタイとは結んでいないが、マレーシアとはまだ結んでいない」と彼は話す。なお、多くの虐待が相次いだ後 10 月、カンボジア人労働者をマレーシアへ送ることに規制がかかった。

NGO 団体 CARAM の Ya Navuth 局長は、出稼ぎ労働者をいかに虐待から保護するかについて ASEAN 内でも様々な見方がされ、同意が形成されていないため、それが今回のフン・セン首相の発言に至ったと話している。

2. 長期資産管理の専門家 Jack Slattery 氏がカンボジア投資マネジメントにリーダーとして参加

長期資産管理の専門家 Jack Slattery 氏(52 歳)が、企業向け金融のリーダーとしてカンボジア投資マネジメントに参加している。Slattery 氏はニューヨーク出身で、投資銀行ソロモン・ブラザーズに 5 年間ほど勤めていた経歴の持ち主。彼の役割は、最高経営責任者の Anthony Galliano 氏(プノンペン・ポスト誌のコラムニストでもある)と共に、新たな任務として、業務拡大の為に融資を探している会社を手助けし、新しく開設されたカンボジア証券取引所(CSX)での新規株式公開(IPO)についての相談に応じる事だ。

「Anthony 氏はシティバンクマンのキャリアがあり、私も昔はソロモン銀行と仕事をしていました。つまり私たちには多くの共通点があったのです」と Slattery 氏は話し、「2 人合わせると、この分野で軽く 40 年以上仕事をしていることになります。私たちは長い間アジアにいたので地方や市場、習慣や文化について知識があります。彼の経験と私の経験で、新たなビジネスの成長になにか貢献できるものがあると思います」と付け加えた。「私たちは安全性や規制環境、申請書やライセンス、その他、法律面から見て貸借対照表が正しく出来ているかなどを確認し、会社が IPO を遂行できる力があるかどうかを確かめます」と Slattery 氏は言う。「株式の売却を決定し、他人の投資を期待するのであれば、その時点で会社は公開会社になります。投資家たちは、民間企業から公式会社になろうとしている会社について、もっと知る必要があります。銀行や電話会社、衣料製造業者などが IPO の候補になるだろう」とも Slattery 氏は述べた。

3. オーストラリアが 2012-2013 年に 1740 万ドルの援助を計画

国内の主要対外援助予算カットという状況にも関わらず、オーストラリアは2012年～2013年度のカンボジアへの援助を約 1740 万 US ドル増やしたと、5 / 09、大使館が発表した。オーストラリア政府は最近、財政黒字を生み出すために対外援助の額を減らすと発表したことで非難的になっていた。

「2012 年から 2015 年、カンボジアにおける法と正義の管理をより強固なものにするため、オーストラリアはカンボジアが全国犯罪データベースと裁判記録の作成するのを手助けする」と声明には書かれている。発表ではまた、オーストラリアはカンボジア国有鉄道の復旧のための力を貸し続けるつもりだ、としている。しかし、復旧活動がかなり長引いていることを理由に、オーストラリアの Toll グループが鉄道運営パートナーシップ事業から手を引いたことをポスト誌は伝えている。

4. 韓国への輸出が 80% アップ

カンボジアから韓国への輸出品としてはそのほとんどが衣料品と農産物の輸出だが、第 1 四半期は前年同期と比べて 80 パーセントもの増加を見せた。プノンペンにある大韓貿易投資復興公社(KOTRA)の出したデータによると、2012 年最初の 3 ヶ月で、韓国への輸出総額は 3000US 万ドルへと急上昇しており、これは去年同時期の 1700 万ドルから 76 パーセントのアップである。

大韓貿易投資復興公社によると、衣料品とフットウェアの輸出は、204 パーセント増加し 490 万ドルになった。大韓貿易投資復興公社の Kim Dohyun 氏は、「衣料品企業から見れば、賃金が上昇しつつある中国やベトナムは進出先としての魅力がなくなってきています。そこで、韓国人投資家たちはほとんどカンボジアに目を向けるようになってきている

のです」と述べた。カンボジアにある韓国商工会議所の委員長 Kang Nam shik 氏は、「過去 6 ヶ月間、衣料品企業のカンボジアへの進出ラッシュが続いている」とし、Kim Dohyun 氏の意見に賛同し、「韓国投資家にとってカンボジアは、労働者の質と賃金その両方において魅力的な国です」と述べている。しかし同時に Kim Dohyun 氏は、「投資家の脅威となるようなストライキが多発すれば、産業に重くのしかかることになるだろう」とも述べている。

5. 抗議活動により道路封鎖が発生するも、ドライバーからの要求に負け、閉鎖は終了を迎えた

5 / 13 早朝から、200 人以上の村人が抗議活動のため、Koh Kong 州の道路 48 号線をほぼ 24 時間封鎖していた。しかし怒った自動車運転者たちの説得により道路は再開された。

人権団体 Licadro とのコーディネーター In Kongchit 氏の話によると、「長時間の土地争議に参加していた村人たちは、土曜日の朝早くに木を切って、夜になるとその木の間に身体をうずめて眠っていた。道を通れないことに怒った多くのドライバーや通行人達が、道路閉鎖を行っている村人に対し“訴えるぞ”と脅したところ、午前 4 時、彼らは道路の再開を決めた」という。

今回の土地争議は、大物上院議員の Ly Yong Phat 氏の所有する会社に贈与された土地をめぐる勃発したものである。In Kongchit 氏が述べたと事によると、地区代表の Tuon Seila 氏は、土曜日に村人たちに交渉を申し入れたが、村人たちは裁判所職員であり地方長官でもある Ly Yong Phat 氏との交渉をのぞんでいたため、その交渉は却下されていた。村人たちが望んでいるのは、自分達の不平を裁判所がすばやく処理し、解決することだと抗議者の Chhy Thy さんは話す。「裁判所は、“ちょっと待って”と言い、もっと証拠を渡すように言うが、私達が証拠を見せてもなんの行動もしてくれない」と彼女は言う。「Ly Yong Phat 氏は 10000 ヘクタール以上もの土地を譲渡された 2 つの会社に関わっているが、抗議者たちはそれは法律に反しているため彼の土地の利権の排除をするよう裁判所に求めている」と In Kongchit 氏は述べた。地方裁判所の裁判官 Heng Kesro 氏と Ly Yong Phat 氏のコメントはまだない。

6. カンボジアが G20 へ参加準備

来月メキシコのロスカボスで行われる G20 サミットで、フン・セン首相は、中国国家主席胡 錦濤とアメリカ大統領バラク・オバマらとともに 1 つ屋根の下で写真に写る初めてのカンボジア首相となるだろう。しかしカンボジアの出席は、公式のものとはほど遠いものだ。カンボジアは西アフリカ諸国のベナンとともに発展途上にある低所得の国々を代表し出ることになる。今年のカンボジアのように、ASEAN の議長国に選ばれた国は順番で会議に招かれることになっているのだ。「仮に 180 もの国の会合であるなら、カンボジアは招待されるだろう。しかし、世界のなかで大きな経済力をもつ国々が集結するいわゆる G20 サミットにカンボジアが出席できるチャンスはほとんどない。貧しい国もその問題に関して発言力があるのだということを証明する機会を、カンボジアはもつだろう」と政府顧問の Mey Kalyan 氏は述べた。

Mey Kalyan 氏は、「発展とは、冷房の効いた部屋で起こるものではない。国際コミュニティは多くの単語を作り出す。しかし貧しい国には、そういう新しい単語は無益です。彼らは私達を混乱させます。”概念の量を少なくしてください。毅然たる処置をとりましょう”、と私は準備会議で提起した」と語った。また Mey Kalyan 氏は、“弱者に配慮したグリーン成長”というコンセプトは重要だし妥当であるが、しかしこのフレーズもだんだんと複雑化し、基礎的開発の段階にある国々にはあまり意味をなさなくなっている」とも述べた。

「ASEAN の中でも巨大な経済力をもち、G20 の常任理事国となっているインドネシアもまた、来月メキシコに行き、“裕福な国と貧しい国の発展度合いのギャップをいかにして埋めていくか”と言ったようなメッセージを伝えてくれるだろう」とカンボジア平和協力研究所の事務局長 Chheang Vannarith 氏は述べた。

7. 縫製工場のストライキは一段落も、未だ解決策は模索

5 / 13、プノンペン市内 Russei Keo 地区にある Su Tong Fang 工場で、800 人以上の従業員による 2 週間に及ぶ抗議活動が終わりを迎えた。彼らの組合代表は「社長と合意した後の木曜日から仕事に戻る」と発表した。同時に組合長 Hai Soven 氏 (Free Trade Union のメンバーでもある) は「会社はいくつかの項目に同意したが、全ての従業員の要求に応えるものではない」とも述べた。会社側は従業員に月 3 ドルの出勤ボーナス、5 ドルの宿泊費用補助、2 ドルの交通費として支給することに同意した。



しかし一方で、Kandal 州 Ang Snuol にある Tai Yen 工場の方針はまだ決まっていない。5000 人以上の従業員は国王誕生日の国民の祝日以降もストライキを続けると表明している。従業員の Sreng Srey Touch さんは「社名変更は勤続年数ボーナスの受給権利を奪いました。なぜなら社名が Tai Yen から Tai Nan に変わった際に私たちの勤続年数もリセッ

トされたのです」と述べ、「私たちは会社に Tai Yen からの勤続年数ボーナスの採用を要求する。私の場合、Tai Yen で 14 年間務めてきたので約 1400 ドルのボーナスになります」と彼女は述べた。

8. <続>抗議活動の惨劇(マンハッタン経済特区) 15 May 2012

裁判所は 今年初めにマンハッタン経済特区で起こった事件について、元バベット州知事 Chhouk Bandith 氏に銃撃され負傷した 3 人の女性従業員へ 2 度目の質問を行いたいと語っている。2 度目の出廷命令書は、彼女たちが Chhouk Bandith 氏に発した不平不満に端を発する。彼女たちは 1 人当たり 45,000 ドルを怪我に対する補償として要求している。

5 / 14、スバイリエン州裁判所の Pech Chhoeut 裁判官は「5 月 18 日の出頭命令書の理由は、彼女たちの申し立てと、補償の詳細を聞き取るためである」と述べた。狙撃された 1 人の Nuth Sakhornさんは、「なぜ前州知事が告訴されて 1 か月以上が経過しているのに逮捕されていないのか」と疑問を投げかけた。同じく被害者の Buot Chindaさんは「出廷命令書には、私の主張を裏付ける証拠資料を持参するように書いてある。一体、正義はどこにあるのですか。彼は私を銃殺しようとしたと言うのに」と言う。Moeun Tola 氏(Community Legal Education Center)は「裁判所は Chhouk Bandith を捕まえる意思がないようだ」「証拠集めをしている私たちの弁護士たちでさえ経済特区のスタッフに妨げられている。」と述べている。

以上